

## 「しごとづくりに関する意見交換会」実施結果概要

- ・日時 平成27年7月6日（月）17:00～19:00
- ・場所 栃木県庁6階大会議室
- ・出席者 県内で活躍されている30～40歳代の若手経営者13名（裏面に一覧）  
（県側：知事、総合政策部長、関係部局職員）
- ・テーマ 若者にとって魅力あるしごとをつくるために何が必要か  
若者が定住するためには何が必要か など

## （主な意見）

○ 仕事の内容・やりがいを伝える

- ・小学校での出前授業などで、様々な職業を紹介するとともに、地元で働くことの意識を育むことや、親が直接子どもに対し、仕事の内容を伝えることが大切
- ・若い人に、仕事のやりがいや、自分が必要とされていることを伝えることが重要
- ・そもそも、栃木県には、魅力ある企業が数多くあるが、県民性なのか、目立つことを好まず、PRが下手。発信に工夫が必要
- ・若手社員の育成にベテラン社員を一定期間教育係として当たらせている。
- ・栃木に戻り、学んだことを生かしたいと考えている人は多いと感じているが、その業種に関する必要な情報の入手が難しい。

○ 多様な働き方ができる環境の確保

- ・柔軟な勤務形態など、女性が働き続けることができる環境の確保が必要
- ・介護中でも、子育て中でも、高齢者や障害者でも、状況や能力に応じて働くことができる環境づくりが大切
- ・社会福祉法人にはワークライフバランスを支える機能を発揮する役割がある。

○ 人材確保が困難

- ・農業の人材の確保が難しい。仕事のイメージと現実のギャップなどを理由に、採用しても長続きしない。
- ・地元で長く住んでいる方は、意外と地元の魅力に気付かない。
- ・中小企業の人材確保に向けて、求人情報を柔軟に発信できる仕組みを構築してほしい。また、採用活動に関するノウハウも共有してほしい。
- ・人材不足の解決に向けて、例えば、業種別の就職フェアを東京と栃木で開催してほしい。

○ その他

- ・異業種間の経営者のネットワークの構築に向けて、県が音頭を取ってほしい。
- ・総合戦略では、他の県にはない特色を打ち出し、一点突破をしてほしい。

「しごとづくりに関する意見交換会」出席者一覧

○経営者

No.	フリガナ 氏名	性別	業種	企業名等	役職名	所在
1	アラマキ 荒牧 菜苗	女	卸売業	(株)アラマキ	常務取締役	宇都宮市
2	イカ 石川 資弘	男	飲食業	レストラン クーリルージュ	オーナー シェフ	宇都宮市
3	イデ 井戸 和廣	男	建設業	井戸産業(株)	代表取締役	鹿沼市
4	イノ 猪股 弘樹	男	建設業	(株)猪股建設	代表取締役	大田原市
5	オカ 大塚 雅斗	男	教育・保育 サービス	(株)キッズ コーポレーション	代表取締役	宇都宮市
6	カザマ 風間 教司	男	飲食業	(有)風間総合サービス	代表取締役	鹿沼市
7	キチ 菊地 月香	女	障害福祉 サービス	社会福祉法人同愛会 障害者支援施設光輝舎	施設長	益子町
8	カト 坂本 晃一	男	製造業	(株)坂本工芸社	代表取締役	上三川町
9	セグチ 関口 弘	男	林業、製 材、建築等	(株)栃毛木材工業	代表取締役 社長	鹿沼市
10	タカツ 高松 優子	女	製造業	(株)熱学技術	取締役	益子町
11	タムラ 田村 文宏	男	製材、建築 建材販売等	(有)田村材木店	代表取締役 社長	日光市
12	ヌオ 沼尾 浩明	男	農業	(株)日光 ストロベリーパーク	代表取締役	日光市
13	ヌダ 舛田 愛	男	農業	舛田農園	—	栃木市

※50音順、敬称略、男性10名、女性3名

○栃木県

福田 富一	知事
北村 一郎	総合政策部長
中里 文計	次長兼総合政策課長
阿久澤 真理	政策企画監